



埼玉県マスコット「コバトン」

日本の小説家について調べる —夏目漱石を例に—



携帯用QRコード

埼玉県立久喜図書館 芸術・文学資料担当
久喜市下早見 85-5 Tel : 0480-21-2659

■ 今回のテーマ ■

2017年は夏目漱石と正岡子規の生誕150年を記念して各地で様々な催しが開かれています。また、毎年国内外の文学賞発表の時期になると、小説家たちに世間の関心が集まります。そんな小説家について、皆さんも興味を引かれ、調べてみたいと思うことがあるのではないのでしょうか。

今回は「夏目漱石」の調べ方を例に、日本の近・現代の小説家の調べ方をご紹介します。

■ キーワード ■

特定のテーマについての情報を探す際は、あらかじめ調べたいテーマに関連するキーワードをもとに調査を開始すると、手際よく情報を集めることができます。

小説家名（今回は「夏目漱石」、「夏目金之助（本名）」など）／作品名（「吾輩は猫である」、「坊っちゃん」、「道草」、「こゝろ」など）／その他ジャンルや潮流、時代など関連する言葉（「余裕派」、「明治文学」）など

■ 関連資料・情報の集め方 ■

事典・辞書・ハンドブックなど、調べものに使う本を参考図書（Reference book）といい、当館では請求記号の頭にRを付け、一般書とは別の書架上に置いてあります。参考図書は、館内で御利用ください。

1 小説家についての基本的な知識を得る

(1) 百科事典で調べる

基本的な情報は、百科事典で調べることができます。

請求記号	タイトル	著[編]者	出版者	出版年
① R031/ニ	『日本大百科全書』		小学館	1984-1997
② R031/ブ	『ブリタニカ国際大百科事典』	フランク・B. ギブニー編	ブリタニカ	1984
③ R031/セ	『世界大百科事典』		平凡社	2005

夏目漱石については①、②、③全てに載っており、どれも人物情報だけではなく作品についての項目も含んだ詳細な記述がされているため、百科事典だけでもかなりの情報を得ることができます。また、①、②は夏目漱石を小説家としている一方、③では作家、英文学者としています。人物について調べていく上で、肩書きは重要なキーワードとなるので、百科事典でどのように紹介されているかを確認しておくことで以降の調査にも役立つことがあります。

また、事典は各項目の最後にその項を記述した人の名前が入っています。記述にはその項の研究者・専門家が携わっているため、こちらもチェックしておくことで関連資料を探す時など後の調査に役立ちます。

(2) 文学関連の辞典・事典で調べる

ア. 小説家について調べられる事典類

明治期から現在にかけての小説家の情報を調べるための資料として、以下のようなものがあります。

請求記号	タイトル	著[編]者	出版者	出版年
① R910.3/ニ	『日本近代文学大事典』1～3巻(全6巻)	日本近代文学館編	講談社	1978
② R910.3/シ	『新潮日本文学辞典』	磯田光一〔ほか〕 編	新潮社	1988
③ R910.3/ニ	『日本現代文学大事典 人名・事項篇』	三好行雄〔ほか〕 編	明治書院	1994
④ R910.26/サツ	『作家・小説家人名事典』	日外アソシエーツ 株式会社編	日外アソ シエーツ	2002
⑤ R910.33/シ	『人物レファレンス事典 文芸篇』	日外アソシエーツ 株式会社編	日外アソ シエーツ	2010
⑥ R910.26/メ	『作家研究大事典 明治・大正・昭和』	作家研究大事典編 纂会編	桜楓社	1992

①～④は作家の生没年、出生地、家族、人物についての詳細な解説が記載されています。①、②については漱石の項目内に「吾輩は猫である」「こゝろ」等一部作品の解説も記載されており、作品の情報を得ることができます。

③には映画化、演劇化、翻訳版の出版などがされた作品についてのデータもあります。

④では生没年、出生地のほか、学歴や受賞歴、所蔵団体情報などが掲載されており、現在も活躍されている小説家の情報を確認する際に役立つ資料です。

⑤は人物に関する情報を収集するときどの事典を見ればよいかわかる「事典の事典」です。各人物について、生没年、別名、簡単なプロフィールの記載もあります。

⑥は研究者向けの事典です。作家の概要や年譜も記載されているので作家の基本的な情報を知ることにも使えますが、その作家の研究史に関する記述が中心となっています。また、参考文献要覧として参考文献目録所載書誌や雑誌紀要特集号、参考文献となる単行書や論文を一覧としてまとめており、研究の第一歩として利用するにはとても優れた事典となっています。

イ. 作品について調べられる事典

明治期から現在までの作品の情報については、以下の資料で調べることができます。

請求記号	タイトル	著[編]者	出版者	出版年
① R910.3/ニ	『日本現代文学大事典 作品篇』	三好行雄〔ほか〕 編	明治書院	1994
② R910.26/ニホ	『日本現代小説大事典』	浅井清・佐藤勝 編	明治書院	2009
③ R910.2/ニ	『日本文芸鑑賞事典』	石本隆一〔ほか〕 編	ぎょうせい	1987

①は近・現代の文学作品について、作品の著者、初出情報、あらすじ、作品評が記載されており、作品について調べる際はとても便利です。

②は作品の著者、あらすじ、みどころのほかに、どの出版社から文庫版が出版されているかという情報も記載されており、作品自体を探す際にも利用することができます。

③明治3年から昭和50年までに発表された名作1017作品について、「あらすじ」「読みどころ」「鑑賞の手引き」など内容についての情報が記載されています。

(3) 特定の小説家の事典

夏目漱石については、以下のように個人に関する事典類が多数出版されています。

請求記号	タイトル	著[編]者	出版者	出版年
① R910. 2/ナ	『夏目漱石辞典』	古川久編	東京堂出版	1982
② R910. 268/ナ ツ001	『夏目漱石事典』	三好行雄編	学灯社	1993
③ R910. 268/ナ ツ00	『夏目漱石事典』	平岡敏夫・山形 和美編	勉誠出版	2000
④ R910. 268/ナ ツ001	『漱石辞典』	小森陽一・飯田 祐子編	翰林書房	2017
⑤ R910. 268/ナ ツ001	『夏目漱石周辺人物事典』	原武哲・石田忠 彦編	笠間書院	2014
⑥ R913. 6/ナ	『『坊っちゃん』事典』	佐藤裕子・増田 裕美子編	勉誠出版	2014
⑦ R913. 6/リ	『漱石『三四郎』書誌』	村田好哉編	翰林書房	1994
⑧ R910. 2/ナ	『漱石研究年表』	荒正人著	集英社	1984
⑨ R910. 28/ナ	『夏目漱石研究資料集成』全十巻十別 巻	平岡敏夫編	日本図書セ ンター	1991

①～③は夏目漱石の作品、作中用語、関係者について項目立ててまとめられており、夏目漱石についてより深く調べる際に便利です。①は辞典で作中用語の解説が中心です。③は人物についての項目が多く、漱石と関係の深い人物について調べる際に用いることができます。

②は大項目として、「伝記事典」「作品事典」「作中人物事典」「研究事典」など分類して収録しており、自身の調べたい事項に合わせて広く調査することができます。後半には漱石研究の論文やコラムも掲載しており、読み物としてや研究目的にも利用できます。

④も辞典で漱石と関わりのある言葉を幅広く取り扱って紹介しているもので、コラムも含め読み物としての要素の強い資料ですが、付録の漱石書誌で作品初版本の出版情報が調べることができ、初版本の装丁写真や漱石文学関連地図など作品についての情報が充実しています。

⑤は夏目漱石の人間関係に焦点を当てた事典です。③と同じく漱石関係人物の項目が多く、夏目漱石の交友関係を調べる際に便利です。

⑥はタイトルのおり作品『坊っちゃん』に関する事典です。作中用語や関連項目についてまとめられています。

⑦は明治41年から平成5年までの夏目漱石の作品『三四郎』について書かれた参考文献をまとめた資料です。『三四郎』について深く知りたい、研究したい場合に利用しましょう。

⑧は夏目漱石の生涯について、年月日ごとの事柄を時系列順に書かれています。また出典も詳細に書かれているので漱石の生涯を知るだけでなく、研究資料を知ることができます。

⑨は明治から昭和20年までの夏目漱石の著作・伝記的事項に関する研究・評論・書評・座談会など網羅的に収録した資料です。

夏目漱石のほかにも、著名な作家については個人事典が出版されていることがあります。図書館で検索機を使って本を探す際に、フリーワード検索で著者名を入れて検索するほか、書名のところに著者名を入れて検索してみると意外な発見があるかもしれません。

また、個人事典は、その人物について深く知るための有益な情報源ですが、研究資料目録のような、ある程度その人物に精通していないと使いこなせないものもあるので、資料の内容を確認し、自身の求める情報に合わせて上手に使い分けるとよいでしょう。

2 作品の探し方

(1) 図書館にある作品の探し方

▶ “小説、物語”に関連した本を探す際の分類コード

図書館では、共通した分類コードを元に各書棚に本を並べています。下記分類を参考に探してみてもいかがでしょうか。

【910】各言語の文学

【910.2】日本文学

【913】小説 物語

【913.6】「近代：明治以後」

▶ インターネットで探す

図書館の資料は、以下のようなウェブサイトで検索することができます。検索の際は、探している作家や作品の名前をキーワードに入れて検索しましょう。

《埼玉県内公共図書館等 横断検索システム》 <http://cross.lib.pref.saitama.jp/>

埼玉県内の市町村立図書館等の蔵書を一度に検索することができます。

《国立国会図書館サーチ》 <http://iss.ndl.go.jp/>

国立国会図書館が所蔵する全ての資料をはじめ、全国の主要な公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等が所蔵する資料を検索できます。

《国立情報学研究所 WebcatPlus》 <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

近世から現代までに出版された書物を対象に、全国の大学図書館や国立国会図書館の所蔵目録や新刊書の書影など、様々な情報源を統合した形で検索できます。

(2) 事典を用いた探し方

作品の出版情報について、以下の事典で調べることができます。

請求記号	タイトル	著[編]者	出版者	出版年
① R910.31/㍿	『作品名から引ける日本文学全集案内 第2期』	日外アソシエーツ株式会社 編	日外アソシエーツ	2003
② R910.31/㍿	『作品名から引ける日本文学作家・小説家個人全集案内 第2期』	日外アソシエーツ株式会社 編	日外アソシエーツ	2003
③ R910.26/ニ	『日本の小説全情報 27/90』	日外アソシエーツ株式会社 編	日外アソシエーツ	1991
④ R910.3	『現代日本文学総覧シリーズ』	日外アソシエーツ株式会社 編	日外アソシエーツ	
⑤ R910.26/ニホ	『日本近現代文学案内』	日外アソシエーツ株式会社 編	日外アソシエーツ	2013

①②は同じ日外アソシエーツから出版されている国内で刊行された近代日本文学に関する全集の索引です。①は文学全集が対象で、作品からどの全集の何巻に掲載されているかを調べることができます。②は個人全集を対象とし、作品が個人全集のどの巻に掲載されているかを調べることができます。また、①②ともに同じ出版社から類似したシリーズとして、『作家名から引ける・・・』という全集索引も出版されているので、用途に合わせて使い分けることができます。

③1927～1990年に国内で刊行された小説・戯曲の図書目録です。夏目漱石没後の期間ですが、この期間に刊行された全集・文庫の出版情報を確認することができます。また、以後も同タイトルで2005年まで3年ごとの情報を掲載した資料が刊行されているので、新しい版のものを探したい時はそちらを利用できます。

④は日本の近代文学の全集・個人全集の内容細目を一覧・検索できる資料です。「内容総覧」「作家名総覧」「作品名総覧」の3種から成り、全集名・作家名・作品名のいずれからでも、全集に収録された作品を調べることができます。現在第6期まで出版されており、数字が大きいものに出版年が新しい全集が収録されているので、探している年代に合わせて利用してください。

⑤は1989年以降に刊行された、明治以降の日本文学に関する研究図書目録です。作家の作品自体を探すのではなく、その作家を対象とした作家論、作品論などの図書を探したい時に使用します。

3 テーマに関連するウェブサイトを見る

近代・現代文学に関するウェブサイトをご紹介します。

《青空文庫》 <http://www.aozora.gr.jp/>

著作権が消滅した作品を中心に公開している電子図書館です。作品名、作家名から探すことができ、作家については生没年が書かれています。また、作家の解説とWikipediaへのリンクが付いていることもあります。

(青空文庫)

《国文学論文目録データベース》 <http://base1.nijl.ac.jp/~rombun/>

国文学研究資料館で所蔵している資料のうち、明治以降の日本文学研究論文の情報が調べられます。

(国文学研究資料館)

《日本近代文学館》 <http://www.bungakukan.or.jp/>

明治以降の日本の近・現代文学関係資料とその関連分野を収集している近代文学に関する総合資料館、専門図書館です。収集は、図書・雑誌・新聞のほか特別資料と原稿・書簡・筆墨・日記・ノート・遺品などその種類は多岐にわたり、現在120万点におよぶ資料を所蔵しています。館収蔵の文庫・コレクションの一覧や、所蔵する雑誌、写真の検索機能があります。

(日本近代文学館)

《国立国会図書館デジタルコレクション》 <http://dl.ndl.go.jp/>

国立国会図書館で収集・集積されているさまざまなデジタル化資料を検索・閲覧できるサービスです。「インターネット公開」資料はどなたでもご覧になれます。また「図書館送信参加館内公開」資料は県立熊谷図書館・県立久喜図書館でご覧いただけます。

(国立国会図書館)

《日本文学翻訳書誌検索》

http://www.jpfl.go.jp/JF_Content/InformationSearchService?ContentNo=13&SubsystemNo=1&HtmlName=search.html

戦後以降に外国語に翻訳された日本文学作品のデータベースです。著者一覧検索、作品名(原題)一覧検索、キーワード検索が可能です。

(国際交流基金)

《文学館研究会》 <http://literarymuseum.net/index.html>

文学館に関する調査研究報告を行っているサイトです。文学館データベースや、文学館が主催・共催する「文学賞一覧」等を掲載しています。

(岡野裕行)